

市民の皆さんに納めていただいた税金やその他の歳入などが、どのようなことに使われたのかを知っていただくため、財政執行状況をお知らせします。出納整理の期間（4月1日～5月31日）の数字が含まれないため、決算の数字とは異なります。

※表の金額は概算です。

■一般会計 歳入の状況

科目	予算現額	収入済額	収入率
市税	143億 6,011万円	140億 5,543万円	97.9%
地方譲与税	5億 2,707万円	5億 6,176万円	106.6%
地方消費税交付金	17億 5,654万円	18億 5,075万円	105.4%
地方交付税	109億 1,070万円	113億 7,873万円	104.3%
分担金及び負担金	7億 3,431万円	5億 5,398万円	75.4%
使用料及び手数料	5億 4,151万円	5億 793万円	93.8%
国庫支出金	52億 1,461万円	47億 6,097万円	91.3%
県支出金	27億 9,452万円	24億 8,793万円	89.0%
繰入金	5億 2,708万円	87万円	0.2%
繰越金	11億 5,534万円	11億 5,534万円	100.0%
諸収入	6億 603万円	4億 3,138万円	71.2%
市債	57億 1,710万円	8億 3,410万円	14.6%
その他	8億 6,602万円	8億 2,888万円	95.7%
合計	457億 1,094万円	394億 805万円	86.2%

■一般会計 歳出の状況

科目	予算現額	支出済額	執行率
議会費	3億 1,276万円	3億 354万円	97.1%
総務費	67億 4,767万円	42億 5,059万円	63.0%
民生費	143億 6,429万円	123億 4,593万円	85.9%
衛生費	51億 2,533万円	39億 313万円	76.2%
労働費	8,932万円	8,890万円	99.5%
農林業費	19億 4,507万円	16億 1,980万円	83.3%
商工費	6億 7,103万円	5億 7,900万円	86.3%
土木費	34億 3,149万円	26億 4,387万円	77.0%
消防費	30億 2,658万円	23億 7,386万円	78.4%
教育費	35億 300万円	30億 2,217万円	86.3%
災害復旧費	4億 9,696万円	2億 5,398万円	51.1%
公債費	65億 62万円	64億 9,662万円	99.9%
予備費	3,000万円	0円	0.0%
合計	462億 4,412万円	378億 8,139万円	81.9%

※市の借金である市債の収入済額は8億3,410万円であり、市債の予算現額に対して14.6%の収入です。収入率が低いのは5月に借りの金額が大きいためです。また、予算現額には繰越明許費*を含んでいます。

*繰越明許費：翌年度に限り、繰り越して使用することができる予算のこと

■市税の状況

皆さんに納めていただいた税金のうち、固定資産税がもっとも多く、収納額は74億872万円です。また、市民税の収納額は56億8,418万円で、市税全体に対して約40.4%となっています。

区分	予算現額	収納額	収納率
市民税	59億 4,329万円	56億 8,418万円	95.6%
固定資産税	74億 509万円	74億 872万円	100.0%
都市計画税	17万円	17万円	100.0%
軽自動車税	2億 5,853万円	2億 5,840万円	99.9%
市たばこ税	6億 9,219万円	6億 4,131万円	92.6%
鉱産税	5万円	4万円	80.0%
入湯税	6,080万円	6,261万円	103.0%
合計	143億 6,012万円	140億 5,543万円	97.9%

■特別会計・財産区特別会計 歳入歳出の状況

	会計名	予算現額	歳入		歳出	
			収入済額	収入率	支出済額	執行率
特別会計	国民健康保険事業	121億 291万円	103億 8,286万円	85.8%	109億 54万円	90.1%
	住宅新築資金等貸付	1億 2,280万円	3,031万円	24.7%	1億 2,240万円	99.7%
	駐車場事業	3,748万円	3,569万円	95.2%	1,983万円	52.9%
	介護保険事業	101億 7,212万円	94億 372万円	92.4%	90億 6,087万円	89.1%
	農業集落排水事業	13億 6,940万円	10億 2,618万円	74.9%	8億 9,984万円	65.7%
	公共下水道事業	9億 4,101万円	8億 3,041万円	88.2%	7億 1,944万円	76.5%
	浄化槽事業	2,418万円	2,195万円	90.8%	2,016万円	83.4%
	サービスエリア	1,361万円	1,241万円	91.2%	668万円	49.1%
	後期高齢者医療	10億 4,294万円	8億 7,685万円	84.1%	9億 2,264万円	88.5%
財産区	島ヶ原財産区	2,946万円	1,736万円	58.9%	1,038万円	35.2%
	大山田財産区	1,405万円	1,405万円	100.0%	281万円	20.0%
合計		258億 6,996万円	226億 5,179万円	87.6%	226億 8,559万円	87.7%



■基金

基金とは家計に例えると貯金のようなもので平成27年度の総額は181億5,059万円です。

主なものは次のとおりです。

区 分	基金額
財政調整基金	53億750万円
伊賀市振興基金	25億9,648万円
庁舎建設基金	14億5,009万円
国民健康保険給付費支払準備基金	11億8,557万円

■一時借入金

一時借入金とは、支払いのための現金不足を補うために借り入れる資金で、同じ会計年度中に返済されるお金です。

一時借入金は次のとおりです。

区 分	借入残高
一般会計	15億円
企業会計	3億円



■問い合わせ

財政課

☎ 22-9608 FAX 22-9694

■一般会計 市債の状況

区 分	残 高
総務債など	284億7,632万円
教育債	103億5,150万円
土木債	74億9,832万円
保健衛生債	27億7,499万円
農林債	12億8,310万円
合 計	503億8,423万円

■特別会計 市債の状況

会計名	残 高
国民健康保険事業（直営診療所）	1,180万円
住宅新築資金等貸付	3,955万円
農業集落排水事業	102億9,523万円
公共下水道事業	64億4,456万円
浄化槽事業	1億651万円
合 計	168億9,765万円

■企業会計 市債の状況

会計名	残 高
水道事業	163億5,622万円
病院事業	15億1,002万円
合 計	178億6,624万円

■財政の動向と市長の財政方針

国の経済状況については、内閣府の3月の月例経済報告によると、景気は企業部門に改善がみられており、また先行きについても、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されています。さらに、「一億総活躍社会の実現」に向けた各種政策により、雇用・所得環境の更なる改善などにつなげ、地域や中小企業・小規模事業者も含めた経済の好循環の更なる拡大の実現も見込まれています。

また、本市の財政状況ですが、平成31年度まで段階的に普通交付税が減額されることや、今後も合併特例債の借入れ事業を継続して実施する予定であり、市債を借り続けることとなるため、一般財源に占める公債費の割合が高い状況が続くことが予想されます。

これにより、政策的経費に充当できる一般財源が低下し、今後も極めて厳しい状況が見込まれます。

このため、一層、行財政改革による施策の優先化や事務事業の効率化・改善に取り組みます。あわせて、公共施設の最適化を着実に実施し、維持管理費の減額などにより一般財源を補います。また、戦略的な地域振興事業や観光振興事業を実施することで、伊賀市全体の交流人口の増加や移住の促進を図り、新たな財源の確保につなげていくことで持続可能な財政運営を行っていきます。

平成28年5月

伊賀市長 岡本 栄